

令和6年度 中城御殿跡地整備検討委員会（第1回）議事要旨

日時：2024年6月6日（木）14:00～16:00

場所：八汐荘 4階中会議室

1. 令和5年度第2回委員会の振り返りと委員会後の進捗報告

- 首里城関連美術工芸品の収蔵に関して、城郭内と中城御殿、沖縄美ら島財団の収蔵庫とどう使い分けるのか。（委員）
 - 中城御殿収蔵物は、沖縄美ら島財団のものと那覇市の尚家資料を想定している。財団所有の美術工芸品のうち修復が必要ないものは中城御殿に、必要なものは財団の収蔵庫に収蔵となる。（事務局）

2. 御内原・表御殿西側エリアの検討

■平面計画、防火・防災計画

- 首里城で進められている防災・防火対策で、国の方針として扉を自動解錠することになっている。中城御殿は、石牆が高くないため自動解錠は不要という議論がこれまでにあったのか。（委員）
 - 消防との協議において、中城御殿の石牆の高さははしごで到達でき、さらに石牆の上からの消火のほうが効率がよいため、石牆の上から消火活動を行う事になった。（事務局）

■断面計画（高さ関係）

- 中城御殿の前面道路は、往時の高さからかさ上げされているのではないかと不安に思っている。（委員）
 - 往時のレベルと現設計レベルの差は十分確認できていないが、バリアフリーとして、スロープがつけられる高さで設定している。どこまで復元できるかわからないが、往時の高さは確認しておきたい。（事務局）

■立面計画（外観・外装材）

- 増床部分は左官調塗装仕上げにより再現部分との質感の調和を図るとあるが、パースでは白っぽく、木部分と色味はかなり違うようだがどう調和を考えるのか。（委員）
 - 再現部分との区別のため左官調とするが、色については今後委員意見も伺いながら検討する。（事務局）
- 外装材について、ヒノキ材とあるがこれまでの報告ではスギ材だったと思う。変更があったのか。（委員）
 - 前回まではスギと報告していたが、耐久性の不安があり変更した。（事務局）
- 御簾は竹製ということだが、往時も竹製があったのか。（委員）
 - 往時の史料は確認できていないが、竹は耐久性があるものとして選定した。（事務局）
 - 中城御殿には御普請日記があり、材料調達の記録がある。史料と耐久性の両面から検討する必要がある。（委員）

- 史料を確認して再検討する（事務局）

■正門周辺の外構計画

- 正門をくぐって左側にスロープがあるが、扉があるため正門正面部分の通路幅が狭いのではないか。車椅子だけでなく健常者も通行するため、もう少し広く取れないのか。（委員）
 - 指摘通り車椅子の通行空間は狭いと思われるので調整する。（事務局）
- 正面の階段が一番問題であり往時とまったく違う空間になる。そこで階段とスロープの組み合わせにしてはどうか。中城城跡などにもスロープ階段はよくある。滑りやすいということもあるかもしれないが工夫できないか。（委員）
 - 階段を減らしたいが、スロープ階段とすると広場がより狭くなってしまうため問題がある。（委員）
 - 何を優先すべきか考え、大事な空間になる正面広場を広く確保できるよう、8段の階段にすることでなるべく手前で高さを処理する現在の案となっている。（事務局）
 - 階段の形状、スロープについては、再考する。（事務局）

■井戸の移設位置

- 本来存在しない場所に井戸を持ってくるのは文化財復元の考え方としてはなじまない。元の位置に最も近い案が妥当だろう。また井筒まで復元するのかどうか、遺構を保護するという意味で屋敷内に移すのであれば、井筒までは再現しない考え方もある。（委員）
 - いずれの案でも元の位置ではないのだから、近いかどうかにかかわらず必然性もなく、来館者が見やすい位置がよいのではないか。（委員）
 - なぜここに井戸を置くのかを確認する必要がある。これまでの議論では、往時の材料・遺構が存在することを示すためとなっていた。ならば表示があればいいのであり、立体的に本物がある必要はないのではないか。（委員）
 - この井戸は本来、裏側の生活空間にあったもので、正面エントランス広場のような公的な空間にあったものではない。中城御殿には複数の井戸があるので、井戸について伝える（紹介する）ならば他の場所で示せばよい。正面エントランス広場はできるだけ広く確保すべきで、井戸を置くべきではないと思う。（委員）
 - この井戸を必ず見せなければならないというわけではないならば、他の井戸の場所に表示があればよい。そういう意味では、（見学がしづらい）Aでもかまわない。（委員）
 - A案について、構造も含め設置可能か確認し、進めていく。（事務局）

■中御庭の外構計画

- 障子を摺りガラスとするという説明だが、現代的なイメージになってしまうので再考が必要ではないか。（委員）
 - 再考する。（事務局）

■表御殿東側エリアの平面表示

- 表御殿東側エリアの平面表示は、畳間をコンクリート洗い出しにして板間をコンクリート直均し仕上げにしたほうが雰囲気合うのではないか。（委員）
 - 表示床面の仕上げはご指摘の通り修正する。（事務局）

■防犯設備計画

- 防犯の観点から目立つことが必要とはいえ、意匠上違和感があるのもよくない。照明や自火報など多くの設備が設置されるため、意匠を考慮し全体で整ったものになるよう検討をお願いしたい。(委員)
 - 了解した。検討する。

■その他

- これから展示などの検討に入る中で、展示室や収蔵庫の地震対策もとても大切なものと考えている。屋内での地震対策の視点もふまえて検討してほしい。(委員)
 - 了解した。検討する。

3. 龍潭周辺の整備について

■龍潭線の舗装

- 龍潭側歩道は中城御殿区間だけ石粉舗装すると説明があったが、どの部分を指しているのか。(委員)
 - 中城御殿前の歩道は、御殿側と龍潭側いずれも石粉舗装とすることを検討している。ただし世持橋付近はすでに石張りのため、石粉舗装に変更可能か南部土木事務所に確認する。(事務局)

■トイレ整備

- 城西小学校側トイレは、木が生い茂り怖い雰囲気もある。不必要な植栽の伐採や枝打ちを行い、明るい雰囲気にしてほしい。(委員)
 - 小学校からも同様の意見があるので留意していきたい。(事務局)

■世持橋の再建

- 世持橋の再建について計画はどのように進んでいるか。(委員)
 - 世持橋整備は今年度予算化し、令和 8 年に向けて進めていく予定である。今後、本委員会に諮っていきたい。(事務局)